

高良富子 たからみ 心理學者。明治二十九年七月一日富山縣生れ、平成五年一月十七日歿（八六―一九三）。舊姓和田、本名とみ。筆名和田とみ子、和田富子。日本女子大學卒、スイ英、イタアメリカ留學、心理學を専攻。歸國後母校教授。大正五年以來數度のタゴール來朝の際してその警咳（けい）に接し、日本での道續講演「有刺社學」（昭和四年九月）二十五日東京朝日新聞發行所）を譯刊（和田富子名）。戰時中大改進黨會中央協力會議婦人代表。昭和二十一年參議院議員、二十八年日本婦人団体道合会副会長。夫は精神醫學者高良武久。

著書「私は見えて来たソ連・中共」（昭和二十七年九月十日朝日新聞社）等。

